

令和2年度の重点課題

○運動が得意で意欲的な児童は、自ら進んで学習課題を発見し、解決に向けて集中して取り組むことができる。
 ○運動に対して消極的な児童は、自分の課題が見いだせず何をどうすればよいかわからない。
 ↓
 この2極化を改善するために「運動が楽しい」
 「運動してみたい！」と児童自らが感じる活動が必要である。

上記の課題を受けて具体的に取組んだ事項

○児童の運動に対するとらえ方を明らかにし、実態に合った学習過程を計画する「みんなで創る体育学習」
 ・指導者→学習指導要領、単元の特性、社会の要求など様々な視点から考え、授業を創っていく。
 ・児童→運動への欲求や関心、学習の経験、環境、技能的な個人差などによって運動に対するとらえ方が違う。
 ↓
 指導者の思いや願いと、児童の思いや願いをすり合わせて学習を創り上げていく。
 ○吉和っ子タイムの実施
 ・週に1回、朝の帯タイムで全校運動を行う。主に体育委員会の児童が中心となって企画し、全校で運動を楽しむことを目的とする。

令和3年度新体力テストの結果(県平均値(令和元年度)・全国平均値(令和元年度)との比較)

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	15.29	20.35	38.06	43.41	51.53	9.16	152.06	22.65	55.29	第5学年	16.48	19.41	42.62	43.66	42.21	9.67	141.00	17.07	58.66

県平均値かつ全国平均値未満

令和3年度新体力テストの結果(県平均値(令和3年度)・全国平均値(令和2年度)との比較)

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	15.29	20.35	38.06	43.41	51.53	9.16	152.06	22.65	55.29	第5学年	16.48	19.41	42.62	43.66	42.21	9.67	141.00	17.07	58.66

県平均値かつ全国平均値未満

運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか

男子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い	女子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
第5学年	88.2	0.0	11.8	0.0	第5学年	48.28	44.83	3.45	3.45

学校独自の意識調査

運動することは楽しいですか？			
楽しい	まあまあ楽しい	あまり楽しくない	全然楽しくない
71%	19%	3.80%	2.10%
運動やスポーツをどのくらいしていますか？			
ほとんど毎日(週に3日以上)	ときどき(週に1~2日くらい)	ときたま(月に1~3日くらい)	しない
65%	23%	4.30%	3.40%

重点課題

- 新体力テストの総合評価のAB率54.3%、DE率13%である。((AB-DE)DE率41.3%)
- 男女とも、「握力」「立ち幅跳び」が県平均値かつ全国平均値未満。
- 男子は、「ボール投げ」が県平均値かつ全国平均値未満。
- 女子は、「50m走」が県平均値かつ全国平均値未満。
- 運動やスポーツをすることがやや嫌い・嫌いと答える児童の割合は、男子11.8%、女子6.9%である。

重点課題に対応した改善する取組内容及び方法

- 新・吉和っ子タイム
 ・週に1回朝の帯タイムに全校運動を実施する。主に縦割り班活動をするが、新型コロナウイルス感染症対策として、個人でも楽しめるような「リズム体操講座」なども実施。その際、教職員も児童と一緒に楽しむことを心がける。
- 運動量の確保
 ・体育の時間に「サーキット」「しっぽとり」「鬼遊び」などを授業の始めに設け、全員が体を動かす時間をつくることで、児童の体力向上を図る。

令和4年度の重点目標値

- 運動やスポーツをする事に対して肯定的な捉え方をする児童を95%以上にする。
- 男女ともに、全ての項目を県平均値・全国平均値以上にする。